



決戦の地は今年も沖縄 “学生日本一”の称号は誰の手に

「PS:JAPAN 2024」決勝大会レポート

全日本学生遊技連盟(学遊連)が主催する学生のぱちんこ大会「PS:JAPAN 2024」決勝大会が、9月1日から3日にかけて沖縄で開催。地方予選を勝ち抜いた全国の学生が熱戦を繰り上げた決勝大会の様子をレポートする。

「PS:JAPAN」とは、「健全な遊技方法を理解した『将来的なユーザーの創出』を目的に、昨年から開催されている学生向けのぱちんこ・パチスロ全国大会。優勝チームには、最大777万円(一人111万円)の奨学金が贈られる。予選となる地方大会の出場には1チーム3〜7人でチームを結成。予選会場では実際に3時間遊技した際の出玉がポイント換算される実技テスト、ぱちんこ・パチスロに関する問題がオンラインで出題される知識テストの合計ポイントを競い、決勝出場を目指した。

インフルエンサーも応援 決勝大会がスタート

大会初日となる9月1日、拠点となる「ロワジール那覇」に出場する全チームが集結。夕方から学遊連スタッフによる決勝大会の説明会が開かれた。今年の実技テストは単純に出玉を競うだけでなく、ゲーム性をもたせた5つのテストを用意。初日に第一テストとなる「ピタ計測を狙え! 777gテスト」が行わ

れた。このテストは用意された30枚のメダルを777gぴったりの計測を目指すもの。グラム数がオーバーまたは少なくても、差分が777ポイントから引かれたポイントが加算される。大幅にオーバーしてしまうチームもある中、777gを記録したチームが現れ、序盤からポイントを稼ぐことに成功していた。

またこの第一テストから、DMMぱちタウン所属の倅田柚希さん、「PS:JAPAN」公式アンバサダーのひなたさんに加えて、ぱちんこ系YouTuberのアオスピ(ぱちんかさん、一般人さん)、ただ(ぱち)きみやすさん、池田モードCさん、けんた天国さん、しまばち(きあらさん、あんさん)も合流。学生の応援や実際にテストを体験するなど会場を盛り上げた。

第一テスト終了後は、学生同士の親睦を深めるレクリエーションを実施。大会説明からレクリエーションまで終えると、大会初日が終了した。

実店舗での実技テスト 沖スロバトルが開幕

大会2日目の舞台は「サンシャインNEXT宜野湾」。入場前に抽選が行われ、選手たちは抽選順に入場。会場には初日に登場したインフルエンサーに加えて、大会公式スペシャルサポーターを務める、チャンネル登録者数95万人超(24年

10月1日現在)のYouTuber・レジスタンス(つかきゅんさん、りよつさん、水島さん、野口さん)も合流した。

ここではルールの異なる実技テストが同時進行で行われた。一つは第二テスト「ハナハナホウオウ〜天翔〜・30」の設定推測対決「設定を探せ! 鳳凰お宝テスト」。制限時間2時間で設定判別し、終了時に遊技していた台が設定6ならば1000ポイント獲得という競技だ。

もう一つが第三テスト「早駆け! トライアスロンテスト」。これは「ぱちんこ」、「沖ドキ! GOLD・30」、「チバリヨ・30」の順にミッションをクリアしながら進んでいくという競技。こちらも制限時間は2時間。時間内にすべてクリアで各500ポイント、MAX1500ポイントを獲得できる。第二テストは遊技者と一緒に設定推測をするメンバー計二人、第三テストは一人が参加。残りのメンバーは応援に駆け付けた。

第三テストでは、「ぱちんこ」で開始早々に大当たりを引くつばいのラスト一回転引く選手がいたほか、30で制限時間内に引く中で、天井まで落とす選手の姿も見られ、思い出に残るようなシーンも生まれた。

そして、2つのテスト行われたのがチームか

続きはデジタルブックで
ご覧いただけます。

詳細はこちら▶



主に大会の進行役を務めた倅田柚希さん(左)とひなたさん



第一テストで776gを記録したチーム



レクリエーションでは学生同士が親睦を深めた



レクリエーション会場はインフルエンサーと学生の交流の場にもなった